

令和8年度当初予算のポイント

四日市市 財政課 TEL. 354-8130

1. 当初予算の編成

令和8年度当初予算の編成にあたっては、人口減少社会を見据えた長期的な視点に立ち、将来世代にバトンをつないでいけるよう、東海エリアにおける西の中核都市として、中心市街地再開発プロジェクトなどを通じた積極的な投資により、地域経済を力強く牽引するほか、DXによる行政事務の効率化により、市民サービスの向上と職員の働き方改革を推進するなど、大胆な改革を進める方針としました。

また、本市が目指す将来都市像を実現するため、人件費や物価の高騰が進む中であっても、推進計画事業や主要事業の着実な進捗を図るべく、基金や市債を有効に活用して積極的な予算編成を行ったところです。

この結果、令和8年度一般会計当初予算の規模は1,522億3,000万円となり、前年度と比べて69億円・4.8%増加し、過去最大の予算規模となりました。

一方、歳入については、個人市民税及び法人市民税は、賃金の引上げや堅調な企業業績から増加、固定資産税は、市内企業の設備投資による償却資産への影響などから増加を見込み、市税収入として749億7,197万円を計上するとともに、財政調整基金繰入金6億8,900万円や都市基盤・公共施設等整備基金繰入金17億2,828万円を計上することにより、収支の均衡を図りました。

市債については、中央通り再編事業の進捗による増加のほか、文化会館大規模設備等改修事業や堀川内水対策事業など、投資的経費が増加した影響から、前年度を29億2,520万円上回る122億4,810万円を計上しております。

2. 予算規模

	〔令和8年度当初予算額〕	〔対前年度比〕
一般会計	1,522億3,000万円	(4.8%)
特別会計	957億7,200万円	(3.5%)
企業会計	793億1,671万円	(4.5%)
財産区	4,600万円	(△9.6%)
計	3,273億6,471万円	(4.3%)

国の一般会計当初予算	対前年度比	6.2%
地方財政計画（通常収支分）	対前年度比	5.5%

3. 新事業、拡充事業、主要事業

(総合計画 分野別基本政策順)

1 子育て・教育

- ① こどもの居場所づくり事業（当初予算資料 P90） 予算額 52,900 千円
こども食堂などを実施する団体への補助を継続して実施するとともに、事業の質の向上や継続性を確保するためのサポート・コーディネート事業を行う。また、多様なこどもの居場所づくり実証事業について、小学校高学年、小中学生のための居場所づくりを継続するとともに、高校生年代対象の居場所として新たに商業施設を活用する。
- ②【拡充】学童保育事業（当初予算資料 P91） 予算額 1,067,734 千円
指導員の経験年数や実績等に応じた処遇改善と合わせて、研修体制を充実することで、人材の確保と保育の質の向上に努める。また、建築工事に対する補助を行い、提供体制の確保と安全性の向上を図る。加えて、高まる学童保育ニーズに対応するため、送迎支援事業に対する補助を拡充するとともに、新たに夏休み児童預かり事業を実施する。
- ③【拡充】待機児童対策事業
うち、私立幼稚園一時預かり事業費補助金（幼稚園型Ⅱ）（当初予算資料 P95） 予算額 51,574 千円
認可保育施設に入所できなかった2歳児の受け皿として、定期的な預かり保育を実施する私立幼稚園に対して運営費の補助を行うことにより、待機児童の解消を目指す。
- ④【新】医療的ケア児受入事業費（当初予算資料 P97） 予算額 24,234 千円
医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律に基づき、公立の保育所等において、訪問看護ステーションを活用し、医療的ケア児の受け入れを可能とするための体制を整備する。
- ⑤ 橋北小学校改築整備事業費（当初予算資料 P172） 予算額 84,373 千円
昭和33年に建築された橋北小学校について、前年度に引き続き実施設計を進める一方で、仮設校舎の建設工事に着手する。
- ⑥【拡充】新教育プログラム推進事業費（当初予算資料 P174） 予算額 413,042 千円
本市独自の「新教育プログラム」において、6つのテーマ（柱）ごとに就学前から中学校卒業時まで育成すべき資質・能力を掲げ、その実現に向けた取組を進めることで、「夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども」の育成を目指す。
・学校水泳民間委託プール施設活用事業の推進（R 7 小学校21校→R 8 小学校全37校）
- ⑦【拡充】学びの一体化推進事業（当初予算資料 P176） 予算額 16,331 千円
一人一人の学びや育ちについて、就学前から義務教育終了までを見通した連続性を持たせ、就学前・小学校・中学校が協働して子どもの教育に携わることで、「確かな学力」と「健やかな成長」の充実を図る。
・小学校高学年の算数の教科担任制実施のための非常勤講師を配置（小学校6校）
- ⑧【拡充】四日市版コミュニティスクール推進事業費（当初予算資料 P177） 予算額 10,823 千円

地域とともにある学校づくりを推進する四日市版コミュニティスクールにおいて、中学校を核とした地域主体での放課後学習支援等の取組を展開する。

(R7：4校 → R8：8校)

⑨【拡充】部活動サポート事業（当初予算資料P178） 予算額 189,064千円

休日部活動において、地域クラブ「みんなのブカツ」として、学校部活動の全種目（16種）を地域展開する。また、地域クラブ活動を持続可能なものとするため、統括運営体制の構築について検討する。

⑩【拡充】図書館維持管理費（利便性向上に資する経費）（当初予算資料P179）

予算額 5,600千円

新図書館へ移行するまでの間も、授乳ブース設置や多目的トイレへのおむつ台設置など、市民に親しまれる図書館であり続けるために必要な環境整備を行う。

2文化・スポーツ・観光

① 四日市花火大会事業費補助金（当初予算資料P104） 予算額 71,800千円

令和7年度に新たな会場で再開した「四日市花火大会」について、有料のメイン会場と無料のサブ会場を設置し、開催に係る経費の一部を助成することにより、多くの市民等に楽しみの場を提供する。

② 観光施設等整備事業費（当初予算資料P106） 予算額 152,658千円

四日市スポーツランドの改修を行うほか、本市が有する観光資源の一つである宮妻峡について、一層の魅力増進及び利便性向上を図るため、市営宮妻峡ヒュッテ跡地を含む宮妻峡周辺の再整備を、DBO（設計・施工・運営一体型）方式で実施するにあたり、プロポーザル審査による業者選定を行う。

③【新】こどもみらいクーポン事業費（当初予算資料P110） 予算額 46,000千円

市内の小中学生を対象に、こどもたちが楽しみながら参加できる多様な分野の体験プログラムを提供し、体験等を通じて達成感やモチベーションを高め、文化芸術・スポーツ分野に特化したクーポンプログラムへの参加意欲を駆り立てる事業を実施する。

④【拡充】四日市市文化財保存活用地域計画推進事業（当初予算資料P113）

予算額 3,960千円

ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財「鳥出神社の鯨船行事」について、地元保存会によって確実に将来へ継承していけるよう支援を充実し、行事の魅力伝える展示に係る施設整備等への経費の一部を新たに助成することによって発信力の強化を図り、活用を進める。

⑤【新】プロスポーツチーム誘致事業費（当初予算資料P114） 予算額 2,600千円

プロスポーツチームの本拠地の誘致に向け、地域への波及効果を客観的かつ定量的に把握し、今後の誘致施策の検討や財政的支援の判断のための基礎資料とする。

⑥ 四日市ドーム整備事業費（当初予算資料P115） **予算額 16,900千円**

改修工事の実施にあたっては、施設の特異な構造上、現場で足場を組みながら大屋根上部等を調査し、施設の劣化状況に応じて適切な改修を実施していく必要がある。このため、設計施工一括発注方式（デザインビルド方式）で工事を行うことから、その業者選定に向けたプロポーザル支援業務を実施する。

3 産業・港湾

① 大学等拠点施設整備事業費（当初予算資料 P36） **予算額 240,500 千円**

J R 四日市駅前への大学整備に向け、建物の配置、間取り、外観、構造、設備などの基本的な内容を図面としてとりまとめる基本設計を行うとともに、用地測量、建物補償積算、地質調査を行う。あわせて、設計施工一括発注方式（デザインビルド方式等）による工事発注に向け、要求水準書の作成や審査会の運営支援等について業務委託を行う。また、学長や学部長候補となる人材の検討を進め、教育研究体系や企業との連携の具体的な検討を行う。

② 【拡充】 ワークスタイル・イノベーション推進事業費(当初予算資料 P123)

予算額 5,150 千円

企業における従業員のワーク・ライフ・バランスを進め、風通しがよく働きやすい環境づくりを促進するため、委託により企業への講師派遣及びセミナーを行う。講師派遣においては、企業が抱える人手不足や生産性の向上などの課題に対し労働者がそれぞれの特性に応じその能力を十分に発揮できる職場環境へと変容できるような社内研修を実施する市内企業を支援する。

③ 新産業拠点創設事業(当初予算資料 P125) **予算額 62,443 千円**

四日市市地場産業振興センター（じばさん）について、スタートアップ支援やリカレント教育・リスクリング、産業情報発信等の機能を備えた「産業の新たな拠点施設」として整備するための改修工事及び1階展示設計業務を実施する。また、関係機関と連携し、市民及び事業者に対してスタートアップ支援やリカレント教育・リスクリングのセミナー等を開催することで、施設のリニューアルオープンに向けた機運醸成を図る。

④ 【新】 産業用地創出事業費(当初予算資料 P128) **予算額 1,000 千円**

全国的に産業用地が不足する中、市内外の新たな産業用地需要に応えるため、本市における産業用地創出に関する方針を明文化するとともに、用地整備等への支援制度の創設等に取り組み、説明会(セミナー)等を実施する。

⑤ ベトナム経済交流事業（中小企業海外販路開拓支援事業費）(当初予算資料 P129)

予算額 14,702 千円

平成 28 年 8 月にベトナム社会主義共和国を訪問し、同国計画投資省外国投資庁及びハイフォン市との間で経済分野における相互の連携・協力を主な内容とする覚書を締結した。

令和 8 年度に覚書締結 10 周年を迎えることを契機に、周年事業として四日市市の認知度を高める販促イベントを開催するとともに、ベトナム企業との商談会を開催し、市内企業の海外展開、販路開拓を図る。併せて、将来的な協力関係の基盤構築を目的とした両市の若い世代の交流促進を図る事業を実施する。

⑥【拡充】かぶせ茶PR推進事業費（当初予算資料 P130） 予算額 13,439 千円

令和8年度に三重県で開催される関西茶業振興大会を、日本有数の生産量を誇る本市の特産品であるかぶせ茶を広くPRする絶好の機会と捉え、メディアを活用したPRや記念イベントの開催に加え、認知度向上や購買意欲の喚起を目的とした現地での体験・販売コンテンツ設置などを展開する「かぶせ茶PRプロジェクト」を実施する。

⑦【拡充】アグリビジネス推進事業費（当初予算資料 P131） 予算額 48,000 千円

農産物の高付加価値化や、農作業の効率化・省力化の向上等の取組を支援することで、農業経営の安定化、多角化やビジネス化を図るとともに、新たに昨今の酷暑の影響を大きく受ける露地野菜農家が行う高温対策の取組への支援を行う。

4 交通・にぎわい

① 知と交流の拠点施設整備事業費（当初予算資料 P32） 予算額 305,100 千円

中心市街地の市役所北側民有地において、滞在型の「知」と「交流」の拠点施設整備に向け、市民意見をいただきながら、建物の配置、間取り、外観、構造、設備などの基本的な内容を図面としてとりまとめる基本設計を行うとともに、地質調査を行う。あわせて、設計施工一括発注方式（デザインビルド方式）による工事発注に向け、要求水準書の作成や審査会の運営支援等について業務委託を行う。

②【拡充】商店街活性化イベント事業補助金（当初予算資料 P126）

予算額 10,300 千円

商店街のにぎわいの創出を図るために実施するイベント事業を行う団体等を支援することにより、商店街の活性化を促進する。また、令和7年9月12日からの大雨に伴う災害により、中心市街地の商店街の多くの店舗が浸水被害を受けたため、令和7年12月24日から1年間に開催されるイベントを対象に、補助率及び補助金上限額の拡充を行っている。

③【拡充】商店街魅力アップ事業補助金（当初予算資料 P127） 予算額 4,400 千円

商店街で、その特性を生かした創意工夫のもと実施する新たな顧客獲得に資する取組や、高校生等の若者が中心となって行う文化・社会活動等の発表を行うものを支援することにより、商店街の新たな魅力の創出や活性化を図る。また、令和7年9月12日からの大雨に伴う災害により、中心市街地の商店街の多くの店舗が浸水被害を受けたため、令和7年12月24日から補助対象事業に商店街組織が実施する「防災・減災に関する事業（計画策定・研修・訓練等）」を新設し、商店街の事業継続力の強化を支援する。

④ 中央通り再編事業（当初予算資料 P150） 予算額 5,250,615 千円

中心市街地の活性化や交通機能の向上を図るため、国の直轄事業「バスタ四日市」の整備とも連携し、デッキ工事や中央通り公園の整備等、近鉄四日市駅周辺からJR四日市駅にかけての中央通りの再編を進める。

⑤ 都市公園整備事業費（当初予算資料 P152） 予算額 476,600 千円

中央通り再編事業と連携を図り、中心市街地の魅力及び回遊性を向上させるため、鶯の森公園及び諏訪公園の再整備を進める。

⑥【拡充】公共交通ネットワーク維持・再編事業（当初予算資料 P155）

予算額 31,777 千円

デマンド交通や支線バス等の生活交通の確保に取り組むとともに、今後の「バスタ四日市」の整備に合わせて、バス路線の効率的な再編を含めた本市における公共交通のあり方について検討する。

⑦ 社会資本整備総合交付金事業費（道路）（当初予算資料 P156） 予算額 286,000 千円

商工業などの経済活動の活性化や交通機能の強化を図るため、国・県道との広域道路ネットワークを形成する道路整備を行う。

- ・小杉新町 2 号線、泊小古曾線

⑧ 産業支援・生活拠点道路整備事業費（当初予算資料 P157） 予算額 726,200 千円

市内の幹線道路となる産業支援道路や住宅団地内を結ぶ生活拠点道路のうち、舗装劣化が進んでいる路線の計画的な再舗装、著しい渋滞が発生している交通ネック箇所の改良や新設道路の整備により安全で快適な道路の機能維持を図る。

【再舗装】

- ・子酉八王子線、山之一色 50 号線、川島 69 号線 他

【渋滞対策】

- ・赤堀小生線、三重橋垂坂線

5 環境・景観

①【拡充】スマートシティ構築促進補助金（当初予算資料 P138）

予算額 121,460 千円

地球温暖化の原因となっている二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を抑制するため、省エネ性能が高い G X 志向型住宅への補助を新たに設けるなど、個人の住宅に設置する新エネルギー設備等を対象とした補助を拡充し、導入を促進する。

② 埋立処分場整備事業費（当初予算資料 P139）

予算額 15,510 千円

南部埋立処分場の埋立地における浸出水量を低減させるため、第 2 区画の埋立完了箇所において最終覆土を実施するにあたり測量及び設計を行う。

6 防災・消防

①【拡充】防災システム整備事業費（当初予算資料 P24）

予算額 30,070 千円

令和 7 年 9 月 12 日からの大雨を受けて、被害の早期把握と対応の迅速化を図るため、SNS 投稿の活用により状況把握が可能なシステムを導入するとともに、ワンコイン浸水センサの検知情報と市の安全安心防災メールを連動させ、市民へ自動配信する仕組みを構築する。

②【拡充】防災倉庫備蓄品等整備事業（当初予算資料 P26）

予算額 32,000 千円

防災備蓄品管理システムを導入し、デジタル化により、業務効率化を図りつつ備蓄品を適正に管理する。また、災害対策基本法改正に伴う備蓄状況の公表義務への対応を行う。

- ③【拡充】避難施設等整備事業（当初予算資料 P27） 予算額 80,790 千円
南海トラフ地震等の大規模災害の発生に備え、貯留式マンホールトイレの整備や既設受水槽等を活用した水の確保により避難所機能の強化を図る。
- ④ 止水板等設置促進事業（当初予算資料 P28） 予算額 7,900 千円
市民や事業者が主体的に行う浸水防止対策を支援し、被害の最小化を図るため、止水板の設置工事、購入に要する経費の一部を補助する。
- ⑤ 消防車両整備事業（当初予算資料 P182） 予算額 267,130 千円
消防車両更新計画に基づき、老朽化した北消防署救助工作車や中消防署及び西分署の高規格救急自動車（2 台）等を更新する。また、南消防署救助工作車の老朽化した救助資機材も更新する。
- ⑥【新】消防広域化適正配置調査負担金（当初予算資料 P184） 予算額 1,455 千円
四日市市及び菰野町の双方にメリットのある消防体制の構築を図るため、消防署の適正配置を検討するための調査を行う。

7 生活・居住

- ①【拡充】客引き行為等防止啓発事業費（当初予算資料 P66） 予算額 22,395 千円
公共の場所において、市民等に著しく不安を与え、迷惑をかける客引き行為等を防止し、市民等が安心して通行し、利用することができる快適な環境を確保するため、巡視活動及び周知啓発などを行う。
現指導員の高齢化や県警OBの確保が困難な状況を踏まえ、令和8年度以降の指導體制の継続のための指導員確保策として、客引き行為等適正化指導業務の警備業者への委託を行う。
- ② 北大谷斎場火葬炉等更新事業（当初予算資料 P140） 予算額 300,300 千円
北大谷斎場の目標耐用年数（70 年）まで火葬場としての機能を維持するため、第1期工事として火葬炉及び周辺設備の更新を行う。
- ③ 北大谷霊園合葬墓設置事業（当初予算資料 P141） 予算額 5,200 千円
身寄りや頼れる親族がいなくても、安心して自らが希望する最期を迎えるための終活支援の一環として、北大谷霊園内に合葬墓の設置工事を行う。

8 健康・福祉・医療

- ①【新】福祉防災関係経費（当初予算資料 P75） 予算額 28,126 千円
高齢者や障害者など、災害時に自ら避難することが困難な人の「避難行動要支援者名簿」の整備を行うとともに、あらかじめ発災時の避難方針を定める「個別避難計画」の作成については福祉専門職に協力を依頼することにより、より精度・実効性の高い計画作成を目指す。
- ② 障害福祉施設整備事業（当初予算資料 P76） 予算額 35,000 千円
あさけワークス、共栄作業所、たんぽぽ及び障害者体育センターについて、障害福祉サービス施設（多機能型）と障害者スポーツ施設として集約・再整備を行うための基本設計を行う。

- ③【新】がん患者ウィッグ等購入助成事業費（当初予算資料 P79） 予算額 1,753 千円
がん治療に伴うがん患者の外見変化に対する心理的・経済的負担を軽減し、QOL（生活の質）向上と社会参加を促進するため、ウィッグ等の購入費用の一部を助成する。

都市経営の土台・共通課題

- ①【新】総合コールセンター事業（行政手続のデジタル化事業）（当初予算資料 P50） 予算額 38,900 千円

市役所によく問い合わせのある定型的な質問と回答（FAQ）を掲載した専用サイトと総合コールセンターを開設し、チャットボットとも連携することで市民がより迅速に問題を解決する手段を拡充し、市民の利便性向上を図る。

- ② 行政手続のデジタル化事業（当初予算資料 P51） 予算額 146,689 千円

令和6年度に策定した「四日市市窓口業務デジタル化実施計画」に基づき、市役所の窓口で行う各種行政手続について、複数の窓口を回ることなく1か所で事務手続きができる「回らない窓口」の導入や、自宅等でオンライン申請が可能な手続の拡大など、デジタル化を推進することで、市民の利便性向上を図る。

- ③【新】市制施行130周年記念事業推進費（当初予算資料P103）

予算額 3,600千円

令和9年度の市制施行130周年に向けて、その節目を全市的に盛り上げるとともに、市民や企業等のシビックプライドをさらに深めることを目的に記念事業の企画を進める。

- ④【拡充】ふるさと応援寄附金事業（当初予算資料P107） 予算額 501,519千円

ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）拡大のために、新規返礼品の開拓を行うとともに、新規返礼品の開発や既存返礼品の改良に対し補助金を交付し、返礼品の魅力向上など効果的な取り組みを行う。また、企業版ふるさと納税をさらに推進するため、企業への働きかけなどを行う。

- ⑤【拡充】シティプロモーション事業費（当初予算資料P108） 予算額 74,054千円

観光・シティプロモーション条例等に基づき、本市ならではの地域資源を活用し、本市の魅力を市内外へ積極的かつ効果的に発信するシティプロモーションを展開しながら、市民のシビックプライドの醸成を図り、主要な地域資源を軸とした誘客と多様な来訪者が快適に過ごせる取り組みを図ることを通して、交流人口や関係人口の増加による地域の活性化を促進する。さらに、観光に関する地域課題の解決や効果的なシティプロモーションの企画立案のために、根拠となるデータを収集・分析し、現状の変化をマーケティングしながら、観光地域づくりの好循環を生み出す仕組みを構築する。

4. 特別会計の主な内容

(1) 競輪事業（当初予算資料 P122） 予算額 36,624,000 千円 (⑦33,135,000 千円)

インターネット投票の売上が好調である中、インターネットユーザー向けの広報施策に注力するとともに、外国人選手が参加する競輪ワールドシリーズや場内イベントの開催により、売上の確保や来場促進に努める。

また、令和 10 年度の供用開始に向けて引き続き外向投票所等の工事を実施するとともに、競走路全面改修工事を実施することで、競輪場としての機能維持及び魅力増進を図る。

なお、繰出金については、一般会計へ 1,100,000 千円を繰り出す。

開催日数 ⑦65 日 → ⑧64 日

車券売上金 ⑦31,000,000 千円 → ⑧34,200,000 千円 (3,200,000 千円)

(2) 国民健康保険（当初予算資料 P80） 予算額 24,136,000 千円 (⑦25,988,000 千円)

国民健康保険は加入者の年齢構成が高く、所得の低い加入者が多いなどの構造的な課題を抱えているほか、被用者保険の適用拡大により、一定所得がある被保険者の減少が進んでいることから、保健事業や収納対策に注力するとともに、国民健康保険支払準備基金に頼らず適正な保険料率を設定しつつ安定的な運営に努めていく。

保健事業については、被保険者が健やかに暮らしていけるよう、がん検診や脳ドックの助成といった各種保健事業の実施とともに、特定健康診査の受診率や特定保健指導の利用率の向上、糖尿病性腎症重症化予防事業の推進に取り組んでいく。

被保険者数⑦46,000 人 →⑧44,000 人 (△2,000 人)

※被保険者数は予算上の積算人数。令和 7 年度 12 月末時点 44,485 人。

一人当たり保険給付費 ⑦387,572 円 →⑧375,694 円 (△11,878 円)

(3) 食肉センター食肉市場（当初予算資料 P122） 予算額 1,013,000 千円 (⑦970,000 千円)

市民へ安全で高品質な食肉を継続して安定供給するため、施設・設備の計画的な更新や適切な維持管理を行う。

また、学識経験者、食肉関係者及び行政で構成する「四日市市食肉センター・食肉地方卸売市場将来構想検討委員会」において、衛生対策の強化や多様化する市場ニーズへの対応を図るべく、建替えに向けた検討に加え、株式会社三重県四日市畜産公社（以下、畜産公社）の持続可能な経営に向けた協議を進める。

さらに、畜産公社の経営の円滑化を目的に、必要な資金を貸し付ける。

施設整備事業費 ⑦244,300 千円 → ⑧261,192 千円 (16,892 千円)

- ・ 1 号庫冷蔵庫設備工事 ほか
- ・ アセットマネジメント（第 2 キュービクル更新工事設計業務委託）
- ・ 食肉センター食肉市場将来構想調査

施設維持管理事業費 ⑦203,856 千円 → ⑧222,961 千円 (19,105 千円)

畜産公社経営円滑化対策事業費 ⑦100,000 千円 → ⑧100,000 千円 (0 千円)

令和 8 年度末市債残高見込 ⑧805,861 千円 (⑦705,931 千円)

(4) 土地区画整理事業（当初予算資料 P147） **予算額 68,000 千円**
(⑦59,000 千円)

土地区画整理による健全な市街地の造成を図るため、施行しようとする者及び施行者に対し助成を行い、事業の促進を図る。

【新】土地区画整理事業費（当初予算資料 P158） **予算額 45,700 千円**

垂坂地区での土地区画整理を施行しようとする者に対し、事業認可に係る測量調査費用を助成する。

(5) 介護保険（当初予算資料 P82） **予算額 24,996,000 千円**
(⑦23,989,000 千円)

高齢化が進行する中、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けて、必要な介護サービスの提供、医療・介護連携の推進、地域における介護予防や生活支援の取り組みの充実に努めるとともに、認知症の人や家族が安心して暮らせるための施策を推進する。

認知症総合支援事業（当初予算資料 P77） **予算額 104,345 千円**
(うち、一般会計分 2,366 千円)

認知症の早期発見・早期対応を進めるため、高齢者が無料で簡易な認知機能検査を受診できる認知症早期診断事業を実施するとともに、認知症初期集中支援チームによる支援を行う。

また、現在策定を進めている「四日市市認知症施策推進計画」に基づき、認知症に関する地域の理解促進に努めるとともに、民間企業との連携体制構築を進め、認知症フレンドリー社会の実現に向けた取組を推進する。

(6) 後期高齢者医療（当初予算資料 P84） **予算額 8,935,000 千円**
(⑦8,422,000 千円)

75 歳以上の後期高齢者等が加入する医療保険制度について、県内の 29 市町で構成する三重県後期高齢者医療広域連合が運営主体となり、資格認定・管理、資格確認書等の交付、保険料の賦課、医療費給付、後期高齢者健康診査などの事務を行う。市は保険料の徴収や窓口での申請受付などの役割を担う。

被保険者数⑦46,965 人 →⑧47,450 人（485 人）

※被保険者数は予算上の積算人数。令和 7 年度 12 月末時点 46,902 人。

後期高齢者医療広域連合納付金⑦8,258,448 千円 →⑧8,773,491 千円（515,043 千円）

5. 企業会計の主な内容

(1) 水道事業（当初予算資料 P186）

予算額 12,647,825 千円
(⑦13,519,336 千円)

安全安心で良質な水道水を供給していくため、小牧水源地において紫外線処理設備の整備を行うとともに大規模地震に備えた基幹施設の耐震化の推進及び経年施設の更新等に取り組む。

第3期水道施設整備事業 ⑦3,810,000 千円 → ⑧2,878,000 千円 (△932,000 千円)

- ・ 高度浄水処理施設整備
- ・ 基幹施設耐震化
- ・ 経年管路更新
- ・ 経年施設更新
- ・ 中央通り再編事業に伴う管網整備

- ・ 漏水事故による社会的な影響を回避するために鋳鉄管を早期に更新する方針が国から示されたことから、令和17年度を目標年度に更新に取り組む。

【拡充】 鋳鉄管更新事業 ⑦0 千円 → ⑧70,000 千円 (皆増)

※第3期水道施設整備事業の経年管路更新に含む

- ・ 近年増加している水道管の漏水に対して、漏水履歴のある老朽管の更新を進める。

【拡充】 漏水対策管路更新事業 ⑦226,900 千円 → ⑧322,615 千円 (95,715 千円)

- ・ 水道施設の老朽化が進む中、今後も施設のさらなる長寿命化のために、既存施設の有効活用を促進することで財政負担の軽減と平準化を目指す中長期的な更新需要の見通しを示したアセットマネジメント計画を策定する。

【新】 水道施設アセットマネジメント計画策定業務委託 ⑦0 千円→⑧12,000 千円 (皆増)

令和8年度末企業債残高見込 ⑧14,206,104 千円 (⑦13,393,740 千円)

(2) 市立四日市病院事業（当初予算資料 P197）

予算額 32,096,596 千円
(⑦31,083,964 千円)

救急医療、高度医療などの急性期医療を担う北勢地域の中核病院として、質の高い医療を安定的に提供していくため、経営改善にも努めつつ、老朽化した病院施設の改修を行うとともに、難易度の高い手術の実施、重症患者に対する診療の実施に必要な最新の医療機器の整備・更新を図る。

- ・ 昭和53年の移転新築以来、未改修のままである配管・配線類等のインフラ更新に併せて、薬局、中央検査室、中央放射線室を中心とした部門改修及び患者支援のための入退院支援センターの新設、院内セキュリティ対策の強化などを行う。工事開始から5年目を迎え、最終年度となる令和8年度は、中央検査室の改修工事等を行う。

病院施設大規模改修事業 ⑦1,004,247 千円→⑧1,652,385 千円 (648,138 千円)

- ・病院施設の適切な維持管理を図るため、更新時期を迎えた設備機器等を更新する。令和8年度は、屋上防水、サービス棟電気室低圧配電盤及びER棟昇降機の改修工事を行う。

その他病院施設改修事業 ⑦237,660千円→⑧132,418千円 (△105,242千円)

- ・病院施設更新計画の策定に向けた取り組みとして、令和6年度に実施した現地建替検討、令和7年度に行う基礎調査に続き、新たな地域医療構想を踏まえた新病院の目指す姿や使命・役割のほか、医療機能をはじめとする将来の方向性といった当院のあり方について検討を行う。

病院施設更新計画検討事業 ⑦4,950千円→⑧13,200千円 (8,250千円)

- ・患者に安全・安心で高度な医療を安定的に提供するため、ハイブリッド手術室用血管造影X線診断装置、放射線情報管理システム、周産期情報管理システムをはじめとした医療機器等の整備・更新を図る。

医療機器等整備事業 ⑦600,000千円→⑧500,000千円 (△100,000千円)

- ・情報セキュリティ強化の一環として、令和7年度に導入した総合医療情報システム統合型バックアップストレージに格納したバックアップデータを、有事の際に安全かつ確実に復旧できるよう適切な運用を図る。また、業務効率化に向けた医療DX推進の一環として、医療向け生成AIサービスを利用し、医療文書作成支援や音声メモ機能などの機能を活用することにより医療従事者の負担軽減を図る。さらに、セキュリティが確保された病院専用のチャットツールを採用し、医療従事者間の安全な情報共有を図る。

情報セキュリティ強化、医療DX推進事業 ⑦61,195→⑧21,524千円 (△39,671千円)

令和8年度末企業債残高見込 ⑧13,118,685千円 (⑦12,293,598千円)

(3) 下水道事業 (当初予算資料 P186)

予算額 34,032,091千円
(⑦30,737,358千円)

<汚水対策事業>

- ・生活環境の向上及び川・海などの公共用水域の水質保全を図るため、汚水管渠整備を推進するとともに、既存施設の更新に努める。

公共下水道汚水対策事業 ⑦6,531,445千円 → ⑧7,156,531千円 (625,086千円)

- ・管渠整備：各地区における整備
- ・管渠更新：特別重点調査に伴う重要下水道管路更新
団地内老朽管及びストックマネジメント計画に基づく管更生
中央通り再編事業に伴う管渠更新 (諏訪栄町)

中央通り再編事業に伴う管渠移設

ウォーターPPP発注支援

・施設更新：ストックマネジメント計画に基づく施設更新及び耐震化

- ・令和7年1月に発生した埼玉県八潮市の陥没事故を受け、国からの要請のあった「下水道管路全国特別重点調査」に基づき、緊急度Ⅰと判定された管渠更新工事を行う。

【新】重要下水道管路更新事業 ⑦0千円 → ⑧241,500千円（皆増）

令和8年度末下水道普及率 ⑧85.3%（⑦84.6%）

<雨水対策事業>

- ・市民の生命・財産を守る「雨に強いまちづくり」を進めるため、市街化区域の雨水排水施設の整備を推進する。

公共下水道雨水対策事業 ⑦4,169,990千円 → ⑧6,223,460千円(2,053,470千円)

- ・市内中心部：新阿瀬知ポンプ場基本設計見直し
浸水対策 まつの雨水2号幹線管渠布設工事
落合川排水路改良工事
- ・施設整備：六呂見調整池（日永地区）用地、建物補償及び詳細設計
- ・管渠更新：特別重点調査に伴う重要下水道管路更新
中央通り再編事業に伴う管渠更新（諏訪栄町）
中央通り再編事業に伴う管渠移設
ウォーターPPP発注支援
- ・施設更新：ストックマネジメント計画に基づく施設更新及び耐震化

- ・令和7年9月12日からの大雨に伴う浸水被害を踏まえ、市内中心部の浸水被害の軽減を図り、新阿瀬知ポンプ場の整備を可能な限り早急に行うため基本設計の見直しを行うほか、まつの雨水2号幹線管渠布設工事及び落合川排水路改良工事を行う。

【拡充】市内中心部浸水対策事業 ⑦430,000千円 → ⑧623,250千円（193,250千円）

- ・令和7年1月に発生した埼玉県八潮市の陥没事故を受け、国からの要請のあった「下水道管路全国特別重点調査」に基づき、緊急度Ⅰと判定された管渠更新工事を行う。

【新】重要下水道管路更新事業 ⑦0千円 → ⑧1,258,500千円（皆増）

令和8年度末企業債残高見込 ⑧78,869,886千円（⑦75,608,020千円）

(4) 農業集落排水事業（当初予算資料P187）

予算額 540,197千円

(⑦550,346千円)

農村集落の生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図るため、施設の適切な維持管理を行う。

- ・施設維持管理経費（11地区） ⑦276,002千円 → ⑧273,880千円（△2,122千円）

令和8年度末企業債残高見込 ⑧881,390千円（⑦988,870千円）